

「農業のありがたさ」

尾田詩小学校 六年 島崎 飛空

ぼくは、小学校二年生の時に、初めて野菜作りを体験しました。その時は、トウモロコシを作りましたが、今回は、ぼくの大好きなおクラを作ってみようと思いました。

やはり一人では出来ないのです、おじいちゃんに手伝ってもらいながらやってみました。

まず、種の準備をしました。オクラの種皮は硬いので、一昼夜水につけました。浮いた種は捨て、水けを切り、準備は終わりです。

種まきは、5月上旬^{じゅう}にやりました。おいしいオクラが出来ますようにと思いながら、一か所に4、5粒まき、1センチメートル厚さに土をかけました。種を早くまきすぎると低温で芽が出ないで、くさつたり、初期の生育が悪くなったりするとおじいちゃんから聞いて、種をまくのも、簡単じゃなくて、きちんと考えながらやらないといけないんだなと思いました。

間引きやしきわらも、おいしいちゃんの家に行つた時に、一緒にやりました。今までは、おいしいちゃんがやっているところは見たことがあつたけど、実際自分でやってみると、すごく難しく、大変でした。おいしいちゃんは、他にもスイカ、ナス、ブルーベリー、トウモロコシ、キュウリ、ジャガイモ、大根、サツマイモなど一年中色々な野菜を作っているの
で、毎日畑に行つて世話をしているのですが、朝が早かつたり、ハクビシンやシカに食べられてしまつたり、本当に大変なことはかりな
んだなと実感しました。

オクラが段々と成長し、やつと花が咲きました。オクラの花は、黄色ですごくきれいで初めて見ました。花は、自分で野菜作りをしてみないと、実物を見ることはなかなか出来ないので、すごくよい体験だと思いました。

開花後十日後位で、やつとオクラが出来ました。ハサミで根元をきつと切り収穫しました。収穫したオクラは、表面のうぶ毛を塩で

ふすりながら取って、ゆでて食べました。自分で育てたオクラは、やっぱり新鮮だし、すごくおいしかったです。一緒に食べたおいしいちゃんねる妹からも、

「すごくおいしいオクラが出来たね」と言われて、野菜作りをしてよかったと思いました。

今年はいくぶん気温がすごく高かったり、雨が降らなかったりしたため、野菜の葉がきれなかったり、トマトが割れたりして、収穫出来るまで大変だったみたいです。農業をやっている人は、天候によります。すごくえいきょうするんだなと知りました。テレビで、自然災害によつて、収穫前の野菜がダメになって、収穫出来なくなってしまうというニュースを見ました。悲しい気持ちになりました。

もし、自分が一生けん命に育てた野菜が食べられなくなるなんて、すごくくやししいんじゃないかと思えます。でも、あきらめずに農業を続けてくれる人達は、きっとおいしい野菜をみんなに届けるために、頑張っている

くれているんだなと思いました。

昔段、当り前のようにスーハーなどで沢山の野菜や果物をみますが、それは当たり前のことじゃなく、農業をやってくれている人がいるから僕達は毎日、おいしい物が食べられるんだなと思いました。

ほくはまた、野菜作りをしたのは2回目ですが、農業の大変さやありがたさも少し知ることが出来ました。

これから、今まで以上に感謝の気持ち

込めながら、

っただきますしと言いたいです。また色々教えてもらいながら、おじいちゃん野菜作りをこたいます。